

素敵な修学旅行と五・七・五 < 感性豊かな6年生 >

北野小学校長 丹羽 郁人

立派な修学旅行を終えた6年生は、その時の様子を5・7・5で表現をした。6年生の先生方に見せてもらったが、どれも素敵。感性豊かだなあと感心をした。



「東大寺 大仏殿で 息をのむ 6の1 濱田 高栄」

「大仏の 足元に吹く 秋の風 6の3 鈴木 リエ」

「大仏が 笑顔で見守る 秋のたび 6の3 佐藤 里穂」

「息をのむ」という表現は、大仏の大きさに圧倒される様子が伝わってくる。さらに、「大仏の足元」とか「大仏が笑顔で」など、大仏の視点に立った言葉を選んだことに、その感性の豊かさを感じる。

一日目の最後に宇治平等院を訪れた。もう陽は落ちかけており、夕焼けをバックに平等院が立っていた。そして、その前の池には平等院がしっかり映っていたのだ。次の紗世さんの作品はその時の感動がしっかり描かれている。

「平等院 水の中にも もう一つ 6の1 大西 紗世」

「夜の町 京都の空に 月食だ 6の2 河邊 星夢」

6年生が京都を訪れたときに、ちょうど月食だった。夜の町と「京都駅空中径路」、そして神秘的な月食は、6年生の心にしっかり刻まれたことだろう。



金閣寺（鹿苑寺）のことも、多くの6年生が書いている。

「紅葉に 光り輝く 金閣寺 6の1 澤田 唯花」

「秋風で 紅葉踊る 金閣寺 6の2 宇野 颯人」

「秋の暮れ 紅葉いろどる 鹿苑寺 6の2 浅野健太郎」

「夕焼けが 金閣映らし 池映る 6の1 杉山 奈優」



秋の京都は趣（おもむき）深い。情緒がある。赤や黄色に彩られた古都（こと）は、人々の心を離さない。

「秋の日に 紅葉映える 都かな 6の3 雨無 由莉」



そして、思わず微笑んでしまった作品を二つ紹介したい。三桜さんや由奈さんらしい素敵な感覚、表現が大好きな作品だ。

「奈良公園 手まで食べられ べっとべと 6の2 岡本 三桜」

「よふかして 恋バナ言いたい ネタがねえ 6の2 佳山 由奈」

修学旅行も素晴らしかったが、この5・7・5も素晴らしい。感性豊かな6年生。紹介した作品だけでなく、すべての作品がとても素敵だった。